

【22_113思考系メルマガ】『根拠』の定量化と『一貫性』

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先週から大阪・名古屋・群馬と、あっちこっちに行かせて貰ってるのですが

今日いる茨城で、ひとまず出張ラッシュはひと段落になります(笑)

明日は明太子を買って帰路に就く予定です。(大洗にめんたいパークがある)

他にもおススメお土産スポットがもしあれば、メールでコツソリ教えてください(笑)

□

■ 『根拠』は 定量的 に見る

いつも『一貫性』を保ってチャート分析を行う為には

日々チャートから集めてくる『根拠』も、常に一定の判断に基づいて行う必要があります。

その『一定の判断』と相性が非常に良いのが『定量的な分析』です。

タイトルにもある 定量 というのは、分析用語なのですが

すっごくザックリ説明すると

定量分析:「数値」に基づいて起こっている事を分析する事 です。

分析化学などの専門領域においては、実際もっと厳密な定義があるのですが

今回の話にはあまり関連性が無いので、ここでは省略します。興味がある人は調べてみてください。

一方その対義語として、「定性分析」というものがあるのですが

これは数値に基づいた分析ではなく、「五感(主に視覚など)」から主観的に判断するイメージです。

例えば、『僕の身長(160 cm)が高いか？低い？』を判断してほしいと言われたときに

【日本人の平均身長は171.6 cmなので、平均的な男性と比較してもクロの方が身長が低い(哀)】

と評価するのは 定量的な判断。

一方【俺より小さいから、クロは身長が低い(失礼！)】と評価するのは 定性的な判断と言えますね。

・・・あれ、なんか目から汗が出てきた。なんでだろう。

さて、こうして例えを並べて比較をすると、「定性的に評価した根拠」というのは「主観的な判断」が基になっており

同じ情報を見ても、見る人によって判断が異なる事が起こりそうですよね。

これをトレードにあてはめて考えてみたとき、例えば「自信の度合いによって、エントリーの際のロットを変える」

という判断は、定量的と言えるでしょうか？

これが、先日のモーニングライブで僕が話していた内容となります。

▼(今更ながら)モーニングライブのアーカイブ▼

<https://youtu.be/9CLBoNmbMiM?t=137>

※最初の2分が「無音」なので、会話の最初までスキップしています

映像の中でも言及していますが、考えてみてほしいのは

「自分がその判断に“どの程度自信があるか”」というのを、果たして『定量的に』判断できるか？

ということです。

その日の気分・体調によったり、あるいは前日までのトレードの結果次第で

同じ根拠を見ても、その分析・判断に対する「自信」というのは結構変わってしまうと思います。

それくらい、「自信」というものは 定性的(≒主観的)な判断に基づいて決まりがちなものであり

そこに「どれくらいのロット(リスク)を張るのか」の判断を委ねるのは

『一貫性』という軸で考えた時に非常に危うい判断を誘発する可能性も出てきます。

トレードする際に最も重要な要素の一つは、常にこのメルマガでも繰り返しお伝えしているように

『一貫したリスクのコントロール』です。

つまり、どんなに体調・気分であったとしても、常に同じチャートを見たら『同じような判断』が出来る状態を作れば

その判断に「迷い」の要素も少なくなるし、『トータルでは負けない(稼げている)』ようになってきます。

何かトレードの『根拠』を考える際に、今回例に挙げたような『定量性』があるかをよく考えてみるのも

一貫性あるルール作りをするためのヒントになると思いますよ。